

学校再編だより

第二中学校

—第3号—

—保護者と地域の協働による検討会議—

令和7年8月発行

旭市教育委員会教育総務課 学校再編室

(仮称)北統合中学校にかかる

第2回第二中学校地域検討会議を開催しました

8月4日(月)午後6時30分から旭市役所1階市民ホールにおいて、第2回第二中学校地域検討会議を開催しました。

今回の会議では、「統合のメリット・デメリット」、「生徒数の推計」、「北統合中学校の候補地」について説明し、質疑応答を行いました。その後、委員全員から統合校の位置に対する意見や質問などを述べてもらいました。

会議で出た意見をもとに、今後も中学校再編について検討していきます。

会議で出た主な意見

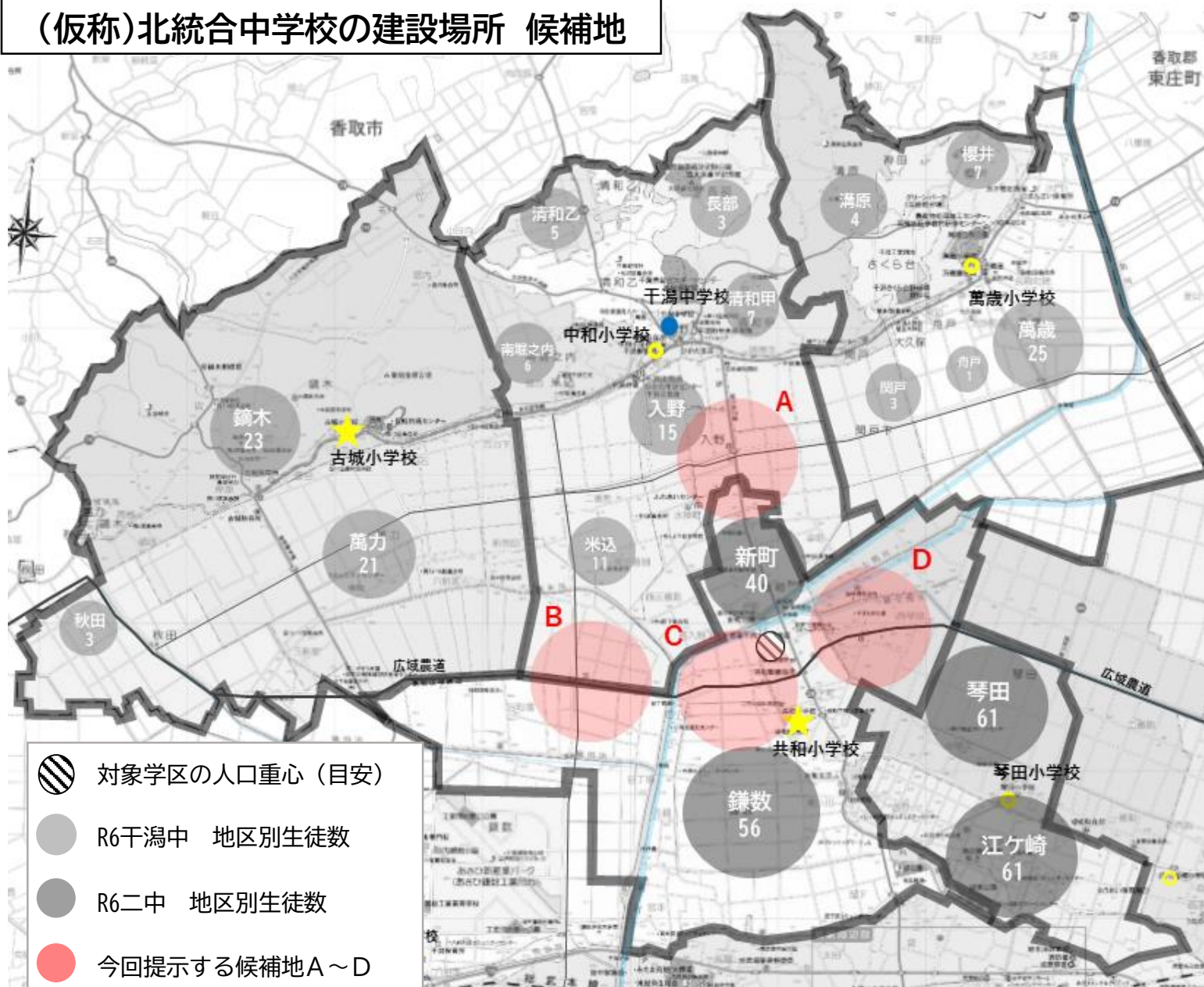
・二百数十人の規模でこういった建物が建って、どのくらいの費用で、どんな部活動ができて、通学路はどこを通るなど、具体的なイメージがつかうような資料を出してもらいたい。	・学校を建てた後の地域展開や災害時の避難経路を考えると、市街地の真ん中よりは、市街地に近いけど田んぼの中にあるAかDがいいと思う。
・新校舎建設ありきの話になっているが、既存の二中、海上中、飯岡中の校舎はまだ新しいので、スクールバスを利用して既存の校舎を活用するという考えもある。	・人口の減り具合を見ると、干潟小学区も含めたほうがバランス的にいい。この先干潟小も含めることを視野に入れるならBがいいと思う。
・教育環境の公平性を目的としているが、南統合中と比べると学級数が半分以下になっているので、公平とは言えないのではないか。	・現在二中では雨の日には送迎の車で大渋滞を起こしているため、通学の安全面や建てた後の利便性を重視して、それに一番適した候補地がいいと思う。
・自転車通学を考えると、Aが比較的どの場所からも通いやすく、有事の際の避難所としても利用しやすいと思うので一番いいと思う。	・それぞれの場所をよく精査して、ここならいけるというところであれば、特に今のところ意見はない。
・今後人口が減っていくことを考えるとAは除外。人口重心に近いCかDにしたほうが、後々の再統合を考えたときにしやすいと思う。	・スクールバスが出るか出ないかによって場所選びが変わる。スクールバスが出るならば安全面は担保されるが、費用が掛かるというデメリットもある。

第3回会議開催予定 日時:令和7年9月25日(木) 午後6時30分から

場所:旭市役所 1階市民ホール

※この会議は傍聴することができますが、会場内のスペースの関係により定員を10名とします。あらかじめご了承ください。

(仮称)北統合中学校の建設場所 候補地



A:入野ローソン交差点付近 B:谷丁場交差点付近 C:広域農道(新川～新町交差点) D:広域農道(新町交差点～西琴田)

(仮称)北統合中学校 生徒数推計

	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	2035 R17	2036 R18	2037 R19
1年生	108	103	93	95	90	87	81	91	74	92	68	66	68
2年生	116	108	103	93	95	90	87	81	91	74	92	68	66
3年生	118	116	108	103	93	95	90	87	81	91	74	92	68
合計 (学級数)	342 (12)	327 (11)	304 (10)	291 (9)	278 (9)	272 (9)	258 (9)	259 (9)	246 (9)	257 (9)	234 (8)	226 (7)	202 (6)

※R7. 5月時点の小学校1年～6年の児童数及び住民基本台帳の6歳～1歳の人数を基に異動がないと仮定して推計

※学級数は一学級35人として計算

学校再編ホームページ

学校再編基本方針の説明動画

北統合中学校の説明動画

地域検討会議



【お問い合わせ先】 旭市教育委員会教育総務課学校再編室

TEL:0479-85-8614 FAX:0479-62-5855

Email:kyo-saihen@city.asahi.lg.jp